

ポリファーマシー対策チーム

「ポリファーマシー（多剤併用）」という言葉聞いたことがありますか？

ポリファーマシーとは、必要以上に多く薬が処方されている状態のことです。複数の病気で複数の病院に通院していると、多くの薬が処方され、飲み忘れも増えます。また、腎臓や肝臓が悪い高齢者には効きすぎてしまう薬や飲み合わせの悪い薬、同じ様な効果の薬が処方されていることもあります。

薬が5～6剤を超えると有害事象や転倒が増加すると報告されており、適正化することが重要です。一方、薬が処方されるには何らかの理由があり、やみくもに減らすだけでは薬の効果が得られなくなってしまうます。処方を最適化するためには、多くの職種の知識と経験が必要です。

当院では多剤併用の高齢入院患者を対象として、令和元年から薬剤師と看護師、医師などの多職種協働チームで薬剤適正化に取り組んでいます。現在は、整形外科、泌尿器科、呼吸器内科に加え、主治医などからご相談があった患者を対象としており、1週間以上の入院予定がある多剤服用患者について毎週火曜日にカンファレンスしております。

現在取り組み中の睡眠薬の適正化もその一部です。その他の薬剤も適正化することにより、転倒やせん妄予防、周術期管理など、多くの取り組みに貢献できると考えております。

患者さんが安全で元気に退院できることを目標に、チーム一丸となって努力を続けていきたいと思ひます。